

## 夢と志を持ち社会へ貢献できる人づくりの教育の推進 ～「古から未来への架け橋」…協働による自立への教育～

始良市教育委員会

### 始良市の概要

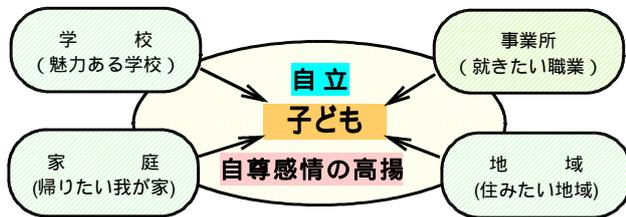


始良市は平成22年3月に旧始良・加治木・蒲生町が合併して誕生した県内で最も新しい市です。「**中央の良さを活かした、県内一くらしやすいまち**」を目指し、さまざまな施策が展開されています。

平成23年度に「始良市教育振興基本計画」を策定し、「**古から未来への架け橋**」の教育理念の下、子どもたちの自立を目指し、**夢と志を持ち社会に貢献できる人づくりの教育**を推進しています。

### 学校・地域融合型人づくり事業

学校、家庭、地域、事業所の役割と責任を明確にし、**市民総ぐるみによる協働の子育てのシステム**づくりを目指し、「『始良っ子』子育て審議会」を立ち上げ、具体的な取組を検討しています。



### 学力向上アクションプラン推進事業

家庭や地域の教育力を活かしながら中学校区をブロックに小学校と中学校で**共通実践事項**を定め、小・中連携による学力向上の取組を進めています。

また、親の関わり方の視点を示した「**市家庭学習の手引き**」を各中学校単位で作成、全家庭に配布して小・中学校が共通の観点で家庭学習を進めています。



家庭学習の手引き



市指導力向上セミナー

「**学力向上は教員の指導力向上により図られる**」という基本的な考えに基づき、外部講師を招聘したセミナーを開催し、「**基礎・基本**」定着度調査結果の課題を重点的に取り上げ、具体的な指導法を学びました。

### モラリティ・インクルーブメント推進事業

学校、家庭、地域が一体となり**道徳性の向上**を目指しています。その取組として「**実践協力校の指定及び発表**」、「**道徳の時間指導演法開発委員会によるリーフレット作成**」、「**学級経営研修会**」等を推進しています。



研究実践発表

本事業は、市内小・中学校全ての学校で毎年、実践研究を進め、実践をつなぎながら**道徳性の向上**を図っていく**全市的な取組**です。

### 理数・外国語教育推進事業



理数定着支援員

**未来を切り拓く力を育む**ために理数・外国語の力の向上を目指しています。理数教育では、**理数定着支援員を小学校へ派遣**し、学力の定着を進めています。外国語教育では、「**始良市から世界へ!**」を合言葉に小学校外国語活動セミナーや大学教授をアドバイザーに迎えた小・中連携による**外国語教育の研修会**を実施しています。

### 体力・気力アップ始良っ子育成プラン 体健やか食育プラン

意欲的に運動に取り組む子どもの育成を目指し、「**体力向上研究校の指定**」、「**体育実技研修会の開催**」、「**1日60分運動の推進**」などに取り組んでいます。考える場面の「**シンキングタイム**」、運動日常化のための「**私が続ける運動**」、親子体力づくりを図る「**体話**」等、市や地区、県の研究公開を行いました。



作戦を話し合う子どもたち

また、**知・徳・体を育む食育の推進**を目指し、**学校給食を核に全校態勢で食に関する指導の充実**に努めています。

### あいら未来特使団(青少年健全育成)



富士登山

**チャレンジする心、仲間と協力する心、思いやりの心**を養い、始良市の未来を担う**青少年の健全育成**のため、学校や学年を超えた異年齢集団「**あいら未来特使団**」を結成しています。平成24年度は、「**日本一の山・富士登山**」に挑戦しました。

## 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の在り方 ～ 自立活動の時間における指導を通して ～

県立串木野養護学校 教諭 牧野 朋子

### はじめに

特殊教育から特別支援教育に変わり、学習指導要領においても、「障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援を充実する」ことが求められています。

この「一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育と必要な支援とは具体的にどのようなことか？」ということを念頭に置き、指導の在り方の見直しにつなげた「自立活動の時間における指導」の一例を紹介いたします。

### めざす児童の姿

小学部4年生の男子児童は、興味・関心の対象が限られており、感覚刺激に没頭しやすく行動調整が難しい知的障害のある児童です。

#### ■ 増やしたい行動

- ・ 一つの活動に落ち着いてじっくりと取り組む。
- ・ いろいろな活動に取り組む。
- ・ 指さしとともにコミュニケーション手段としてのことばを増やす。

#### ■ 減らしたい行動

- ・ いらいらしてパニックになる。
- ・ 好きな物(紙等)を揺らして感覚刺激に没頭する。
- ・ 好まない活動は、払いのける。
- ・ 席を立てて自分の好きな遊びをする。

### 指導目標

年間の指導目標を次のように設定しました。

好きな遊び(パソコン等)を活動に取り入れることで、他の活動にも集中して取り組むことができるようにする。また、活動の中で、ことばのやりとりを増やすようにする。

### 指導のポイント(配慮したこと)

児童のニーズ(好きな活動)と指導者の願い(増やしたい行動)のすり合わせを行い、教育的ニーズに応じた学習となるように、次のように配慮しました。

#### ■ きずなを深める

まず、児童とのきずなを深めます。そのために児童のニーズを受け止め、好きな活動を十分行います。この時期は教育的ニーズに応じた学習へとつなげていくことを意識しながら、児童との関係が十分深まるまで継続して取り組みました。

#### ■ 見通しがもてるようにする

学習活動の見通しがもてるように、最初に活動内容や順番を提示するようにしました。また、活動時間が見て分かるようなタイマーを準備し、「あと 分」と残り時間を予告するように



タイマーと活動内容

しました。

見通しをもつことができたことで、活動ごとの切り替えや終わりが分かりやすくなり、いらいらやパニックが軽減しました。

#### ■ 興味・関心を生かす



好きなマーク

好きな活動を生かして、教育的ニーズに応じた活動に少しずつ移行していきます。対象児童の場合は次のようなことです。

- ・ 標識やロゴ・マーク マッチング
- ・ ビーズ付き輪ゴム ビーズ通し
- ・ パソコンの映像 自作ソフトを利用した学習 等

#### ■ 「できた」体験を増やす

遊びの対象であったマークの紙を、マッチングの学習課題として理解できるようにするために、更に細かい手立てが必要です。

見本を見せた後、両面テープの剥離紙を少し剥がす、剥がす面を上にして置く、貼る場所を指さす等の援助の下、1枚のシールを貼ることができました。細かいステップを踏むことで、児童は「見る・揺らす」遊びの対象であったマークの紙を、学習教材として理解し、活動に自分から取り組み、「できた」と実感できるようになりました。

#### ■ 「できた」体験から更に活動を広げる

好きな物だけでなく、いろいろな教材・教具(絵カードやパズル・型はめ等)も取り入れました。活動の幅が広がり、1時間でいろいろな活動に取り組めるようになりました。



動物カードのマッチング

#### ■ 褒めて自信をもたせる

活動の後は、「できたね」「じょうずだね」と必ず称賛します。すぐには変容は見られませんが、繰り返すことで、「活動する 褒められる うれしい」というように、称賛の意味を自分の行動と結び付けて理解し、満足感を得ているようでした。

### 成果と課題

3学期になると、自立活動の時間に、自分の好きな活動だけに没頭することが減り、教師が準備したいろいろな学習活動に落ち着いて取り組むことや、「思い」を指さしとことばで伝えることも増えてきました。

児童自身が手掛かりを活用し、学校生活の様々な場面でいろいろな学習活動に取り組むようにするとともに、学習の評価を指導目標や教育的ニーズに反映させて、次の取組につなげるサイクルを一層機能させることが、今後の課題だと考えています。

## 複式学級の特性を生かした算数科学習指導の研究 ～児童が主体的に学習を進めるための工夫～

西之表市立安納小学校 教諭 柳崎 鉄兵

### はじめに

複式学級の特性（少人数，直接指導の時間が少ない，2 個学年編成）は，課題として考えられがちですが，その課題を利点としてとらえ，授業を構成しています。

- 少人数→個に応じた指導の充実
- 直接指導の時間が少ない→自学の経験の蓄積
- 2 個学年編成→学び合う態度の育成

### 授業の実際

#### 指導内容の精選

複式学級の指導では，直接指導と間接指導を行う必要があります，直接指導の時間に限りがあります。そこで，一単位時間の目標を分析し，指導内容を精選し，全員に定着させたい基本的な事項を明確にしています。

3 年生	4 年生
（本時の目標） （3けた）×（1けた）の計算は，どうすればいいのだろうか。	（本時の目標） 平行な直線にかくには，どうすればいいのだろうか。

「まとめ」  
（2けた）×（1けた）のように，一の位から順に計算する。

「まとめ」  
平行な直線の性質を使ってかく。

#### 「わたり」の工夫

個別指導を充実させるために，調べる・高める過程で，実態に応じて柔軟にわたりを行っています。こうすることで，子どもたちの学習を把握することができます。

3 年生	教師の位置	4 年生
つかむ	「わたり」の工夫	たしかめる
見通す		つかむ
調べる		見通す
高める		調べる
まとめる		高める
たしかめる		まとめる

#### 間接指導につなげる直接指導の充実

間接指導時，子どもたちの主体的な学習を成立させるために，直接指導時に次のことを見届けたり，指示したりして，間接指導に移るようにしています。

- ・ 学習課題やめあての意味を把握しているか。
- ・ 自力解決が可能な方法で取り組んでいるか。
- ・ いつまでに，何を行うのか，終わったらどうするのか。



子どもたちがどのように学習を進めていけばよいか分かるように，学習の進め方の手順，時間を提示しています。

- ・ ノートや小黒板に考えを記録させ，子どもたちの思考を把握しています。

小黒板への記録。もう一方の学年を指導しながら，子どもたちの考えを把握できます。



#### 間接指導の手立て

直接指導と間接指導が入れ替わる複式学級では，教師が関わる時間と子どもたちだけで学習を進めていく場面があります。特に，間接指導時は，子どもたちだけで学習を進めていくことになるので，学習が行き詰まらないように，以下のように資料等を準備しています。

- ・ ヒントコーナーの設置

前時までの学習における子どもたちの考えをデジタル黒板に提示し，思考のよりどころとして活用させています。



思考の手がかりとなるように，具体物コーナーを設置しています。

- ・ ガイドの育成

間接指導時に学習を進めるために，教師の代わりに学習を進行するガイドを育成しています。主に，調べる・高める過程で，ガイドを中心に学習を進めています。特に高める過程では，各自の考えを発表し，類似点・相違点を話し合っ，子どもたち自身で考えを練り上げさせています。



### おわりに

複式学習指導では，子どもたちが主体的に学習を進め，授業が停滞することがないように，あらゆる手立てを考えておく必要があります。

子どもたちは，授業を通じて，自ら学び，自ら考え，自ら表現する力を身に付けていくことができます。

## 人権教育の確かな推進を図るために ～正しい理解と認識を深める資料の活用を～

人権同和教育課

### はじめに

人権教育を推進するためには、人権課題についての正しい理解と認識を深めることが大切です。本号では「障害者の人権」「HIV感染者等の人権」「北朝鮮当局による拉致問題等」に関する資料を紹介します。

### 障害者の人権

「障害は不便である。しかし、不幸ではない。」  
(ヘレン・ケラー)

障害の有無に関わりなく、誰もが尊重し支え合う「共生社会」を実現することが求められています。障害のある子どもが地域社会の中で積極的に活動し、その一員として豊かに生きる上で、障害のない子どもとの交流及び共同学習を通して相互理解を図ることが極めて重要です。



文部科学省が作成した「交流及び共同学習ガイド」の概要を平成24年度「なくそう差別 築こう明るい社会～様々な人権課題を解決するために～」P9に掲載してあります。

また、平成24年度人権教育指導資料実践例集「仲間づくり」には、特別支援学校との交流及び共同学習の実践が掲載されていますので、今後の取組の参考にしてください。(P4～9「学校間の連携・協力による人にやさしい子どもの育成」)

### HIV感染者等の人権

日本では、毎年1000人以上の新しいHIV感染者・エイズ患者が発生しており、本県においても増加傾向にあります(平成20年9人、平成21年10人、平成22年13人)。

HIV感染症は、その感染経路が特定している上、感染力もそれほど強いものでないことから、正しい知識に基づいて通常の日常生活を送る限り、いたずらに感染を恐れる必要はありません。



HIV感染者・エイズ患者が尊厳をもって暮らせる社会づくりを推進するために、私たちが正しい理解と認識を深め、偏見や差別意識を持たずに共に生きる社会を目指すことが大切です。



県では平成25年2月9日に「第12回ハンセン病問題に関するシンポジウム(人権フォーラム2013 in 鹿児島)」を開催します。シンポジウムや演劇を通して、ハンセン病やエイズなどの疾病に伴う人権問題について学び、差別や偏見を乗り越え、全ての人々が共に生きるための、よりよい社会づくりについて考える機会として、みませんか。

### 北朝鮮当局による拉致問題等

「ある日突然連れ去られ、今も救出を待ち続けている…。それが、もしも自分の家族だったら…。」  
(県作成リーフレットから)

私たち一人一人が自分の家族と重ねて考え、拉致問題についての正しい知識を持ち、関心と認識を深めることが求められています。

平成24年度「なくそう差別 築こう明るい社会～様々な人権課題を解決するために～」のP22・23を活用して、これまでの動きや教科書記述について確認するとともに、アニメ「めぐみ」や下記の資料等を活用し児童生徒の発達の段階に応じた取組を進めてください。



### 北朝鮮による日本人拉致問題のリーフレット (鹿児島県)

『家族愛』～拉致問題を絶対に忘れない～  
(新潟青年会議所)

それぞれ鹿児島県・新潟県のホームページからダウンロードすることができます。

### おわりに

「自分には関係のないこと」「かわいそう」。人権課題に出合ったときに、どのように向き合っているでしょうか。「実は私の問題なのだ」「差別する側の問題だ」という見方を大切にして、私たちの人権意識を高めていきましょう。